



平成28年1月19日(火) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
農業技術センター	野菜・果樹部	勝山・菊井	直通 058-239-3133 FAX 058-239-3139
農政課	農業研究推進係	石垣・須賀	内線 2804 直通 058-272-8415 FAX 058-278-2680

## 岐阜県オリジナル新品種が誕生 ～ イチゴ「<sup>はな</sup>華かがり」～

岐阜県農業技術センターでは、果実が大きくきれいな形で、果汁がたっぷりのイチゴ新品種「華かがり」を開発しました。

### 1 イチゴ新品種「華かがり」について

#### 1) 育成経過

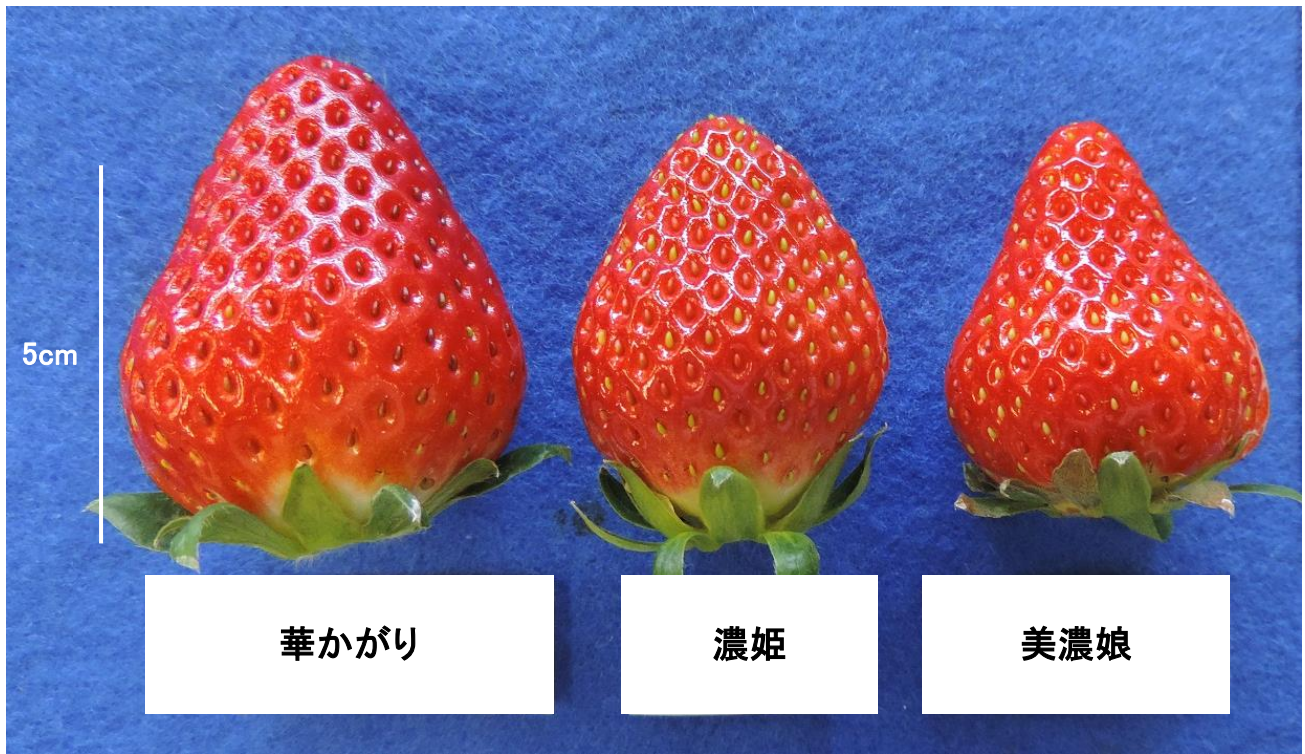
- ・果実が大きく品質が優れ、安定的に出荷することができる品種の開発を目指し、平成18年度に当センター育成の「美濃娘」と果実が大きな系統を交配し、育成を開始。
- ・平成26年度に現地調査を含め育成を完了し、平成27年3月11日に農林水産省へ品種登録出願（出願公表日：平成27年8月24日）。

#### 2) 名前の由来及び特徴

- ・県内イチゴの主力産地である岐阜地域のシンボル「金華山」の「華」と、赤々と燃える清流長良川の鶺鴒の「かがり火」をイチゴの赤く大きな果実に見立て、この両者を重ねあわせて、「華かがり」と命名。
- ・果実はツヤのある赤色でサイズが大きく、28g以上（最大規格の3Lサイズに相当）の果実収量は既存の県育成品種「濃姫」「美濃娘」の約3～4倍。
- ・秀品（形のきれいな果実）収量が既存品種の約1.5倍で、果汁が多く甘い。
- ・順調に花が咲き果実を連続的に収穫できることから、既存品種に比べ、シーズンを通して出荷量の変動が少ない。

### 2 今後の予定

今年春に苗の供給を開始し、5年後には1ha、10年後には15ha程度の普及を見込んでいます。市場への本格出荷は、平成30年の冬を予定しています。



果実の比較（原寸大）